

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	生物学 (Biology)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	野津 忠道
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	通 年
コース	I 部			(単位)	4	曜日・時限	火曜日・2限

【授業の学習内容】

多様な生物の共通点やその特徴、様々な生命活動を知ることにより、生物についての理解を深める。
 生物について、具体的な生命活動の学習を通して知識を広め、理解を深めることによって、生命活動の仕組みやその意義を知る。
 生物個体の成り立ちを知り、個体を構成する器官や組織の働きを学び、器官や組織が生命活動にどのように関わっているのかを理解する。生物学が生理学・解剖学などの学習内容と関連することに気付き、他の科目の学習と結びつけることにより、その科目の理解等を支えるものとする。
 実務者経験：1969年4月～2005年3月まで愛知県県立高等学校で生物を教える。

【到達目標】

生物について、具体的な生命活動の学習を通して多くの知識を習得し、理解を深める。生命活動の仕組みやその意義を知る。生命を維持する仕組みが個体を構成する器官や組織でどのように働いているかを理解できる。

＜具体的な目標＞

- ①生命の基本単位である細胞：細胞の構造と働き、細胞分裂、個体の成り立ちについて理解し説明できる。
- ②自己増殖性を持つ(自分と同じ種の個体をつくること)ができる)：発生、遺伝、DNAのはたらきについて理解し説明できる。
- ③自己調節性を持つ(刺激に対して反応し、恒常性を維持する)：刺激の受容と反応・神経系について理解し説明できる。
- ④体液の恒常性と血液の働き：免疫の仕組み、自律神経・ホルモンによる体液の恒常性を維持する仕組みについて学習する。
- ⑤エネルギー交代：生体を構成する物質、同化と異化、酵素とその働きを学び、生命活動と生体内の化学反応との関係を理解し説明できる。

授業計画・内容

1回目	ガイダンス 生物学を学ぶにあたって：日常生活と生物学、他の教科との関わりについて理解できる	16回目	体内環境の恒常性が理解できる
2回目	生物の特性、生物の系統分類、人間の活動の生態系への影響などについて理解できる	17回目	血液の組成とその働き、ガス交換について説明できる
3回目	細胞の構造と働きについて知り、理解できる	18回目	生体防御とその仕組みについて理解できる
4回目	細胞膜、ミトコンドリアなど細胞小器官の構造と働きを知り、理解できる	19回目	刺激の受容と感覚について理解できる
5回目	動物個体の成り立ち、動物の組織、ヒトの器官系とその働きについて説明できる	20回目	受容器の構造と受容の仕組みや調節の仕組みについて説明ができる
6回目	生体を構成する物質(タンパク質・核酸など)の構造と働き等を理解する	21回目	ニューロンの構造や興奮・興奮伝導の仕組みについて理解できる
7回目	生体内の代謝と酵素の働きについて理解し説明できる	22回目	興奮の伝達の仕組みやその経路について理解できる
8回目	エネルギーと代謝について理解できる	23回目	ヒトの神経系とその働きについて説明できる
9回目	遺伝子仮説について理解できる	24回目	筋肉の構造と収縮の仕組みについて理解できる
10回目	遺伝子仮説が当てはまらない遺伝と遺伝子について説明できる	25回目	腎臓や肝臓の働きについて理解できる
11回目	染色体説と減数分裂から遺伝子が存在する細胞内構造について理解できる	26回目	自律神経系その働きについて説明できる
12回目	遺伝子の本体がDNAであることを理解できる	27回目	内分泌腺とホルモン及びその働きについて説明できる
13回目	DNAの複製の仕組みとタンパク質合成について説明できる	28回目	自律神経系と内分泌系の協調による調節について理解できる
14回目	確認テスト	29回目	確認テスト
15回目	まとめ	30回目	まとめ

準備学習 時間外学習

各授業は、第1回より一連の流れによって進めていくため、必ず前回の授業内容について復習が必要です。
 生理学・解剖学の分野に深く関わる学習内容を取り扱う場合は、それらの科目との関連を意識した復習が必要です。
 練習問題を活用してください。

評価方法

1. 定期試験(100%)

評価方法はGPA制度となります
 100～90点 S
 89～80点 A
 79～70点 B
 69～60点 C
 59点以下 F不合格

試験を基に評価する。
 受講態度、出欠の状況などを加味し総合的に評価する場合もある。

受講生への メッセージ

生物学では、私たちの体内の器官や組織で行われていることを学びます。これは、国家資格の取得に関係する科目を学ぶための基礎・基本となり、学習をする上で理解をさらに深めることとなります。さらには、専門職としての技能を高めるために必要な科目として、生物学の学習に取り組むことが大切です。授業を大切に、授業中に理解するように努めることがポイントとなります。ぜひ生物学に興味を持ってください。

【使用教科書・教材・参考書】

視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録 新課程(数研出版)

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	外国語 (A Foreign Language)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	Michael Earnest
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	前期
コース	I 部			(単位)	4	曜日・時限	火曜日・3限

【授業の学習内容】

患者が来院して、外来受付から各科での受診、検査、治療、会計までの各場面で基本的な英語コミュニケーション力を習得するため、基本語彙や重要表現を「聞いて理解できる」「話すことができる」「読んで理解できる」「書いて表現することができる」ように、座学、ロールプレイ、CDによる音声により学習する。

実務者経験: TESOL(英語教授法)の修士号を取得し、2002～2009年まで英語非常勤講師として教育に携わる。2010年より(株)国際教育社において専門学校での英語教育(基礎英語、ビジネス英語、医学英語)に携わる。

【到達目標】

病院現場での英語での会話を理解し、英語での対応が必要な状況で貢献できるようになる。授業中のコミュニケーション練習により一般病棟や鍼灸科での英語話者である患者の診察、援助、指示する際に必要となる英語のインプット、アウトプットの両方の能力を養う。

授業計画・内容

1回目	Lesson1.1-1.2 インタロダクション、受付での患者への挨拶の仕方を学ぶ	
2回目	Lesson1.3-1.4 初診の患者への対応方法、問診書記入の説明を学ぶ	
3回目	Lesson2.1-2.3 電話でアポイントが取れるようになる	
4回目	Lesson2.4-2.5 治療費の説明、道順の説明ができるようになる	
5回目	Lesson3.1-3.4 治療前の患者との会話方法を学ぶ	
6回目	Lesson3.5-3.8 治療前の患者との会話方法を学ぶ	
7回目	Lesson4.1-4.5 患者の訴え、症状を尋ねることができるようになる	
8回目	Lesson4.6-4.10 生活習慣について、また病歴について尋ねることができるようになる	
9回目	Lesson5.1 治療方法について、工程を順に説明できるようになる	
10回目	Lesson5.2 治療中、または治療前の患者への指示方法を学ぶ	
11回目	Lesson6.1-6.2 治療中の治療方法を患者へ説明できるようになる	
12回目	Lesson6.3-6.4 きゅう療法の様々な種類について説明できるようになる	
13回目	学期末試験の復習	
14回目	学期末試験の復習	
15回目	学期末試験返却、解説	
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。	

【使用教科書・教材・参考書】

「鍼灸マッサージ師のための英会話ハンドブック」ワイマン・ゴードン、大饗里香 著(医道の日本社)

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	外国語 (A Foreign Language)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	Michael Earnest
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	後 期
コース	I 部			(単位)	4	曜日・時限	火曜日・3限

【授業の学習内容】

患者が来院して、外来受付から各科での受診、検査、治療、会計までの各場面で基本的な英語コミュニケーション力を習得するため、基本語彙や重要表現を「聞いて理解できる」「話すことができる」「読んで理解できる」「書いて表現することができる」ように、座学、ロールプレイ、CDによる音声により学習する。

実務者経験: TESOL(英語教授法)の修士号を取得し、2002～2009年まで英語非常勤講師として教育に携わる。2010年より(株)国際教育社において専門学校での英語教育(基礎英語、ビジネス英語、医学英語)に携わる。

【到達目標】

病院現場での英語での会話を理解し、英語での対応が必要な状況で貢献できるようになる。授業中のコミュニケーション練習により一般病棟や鍼灸科での英語話者である患者の診察、援助、指示する際に必要となる英語のインプット、アウトプットの両方の能力を養う。

授業計画・内容

1回目	教科書1-1 p.6-11 オリエンテーション(授業内容や教科書の紹介) 患者様の受付について学ぶ。	
2回目	教科書1-2 p.6-11 患者様の受付(続き)。患者様への丁寧な説明方法を学ぶ。	
3回目	教科書2-1 p.12-17 病院で働くスタッフ名、科の名称を覚える。病院内の案内ができるようになる。	
4回目	教科書2-2 p.12-17 病院の案内(続き)。病院までの道順を説明する。(患者様をご案内、また海外研修の準備)	
5回目	教科書3-1 p.18-23 体内の器官の英単語を覚える。また、患者様の症状を説明できるようになる。	
6回目	教科書3-2 p.18-23 患者様の症状の説明(続き)。症状の診断について説明できるようになる。	
7回目	教科書4-1 p.24-29 様々な痛みについて、またどのくらい痛みが続いているのか説明できるようになる。	
8回目	教科書4-2 p.24-29 患者様への症状の尋ね方を覚える。	
9回目	教科書5-1 p.30-35 正しい英単語を用いて、患者様の診断書を書けるようになる。	
10回目	教科書5-2 p.30-35 既往歴や家族歴について、詳しく患者様に尋ねられるようになる。	
11回目	教科書6-1 p.36-40 問診表を書けるようになる。臓器の名称を覚える。	
12回目	教科書6-2 p.36-40 問診表を書けるようになる(続き)。	
13回目	テストの復習	
14回目	テスト	
15回目	学習到達チェックテスト、テストの解説	
準備学習 時間外学習	授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。	
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%) 	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。	

【使用教科書・教材・参考書】

「鍼灸マッサージ師のための英会話ハンドブック」ワイマン・ゴードン、大饗里香 著(医道の日本社)

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	情報社会学 (Sociology)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	熊崎 悦子
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	通 年
コース	I 部			(単位)	4	曜日・時限	火曜日・1限

【授業の学習内容】

一般的に普及している事務用のアプリケーション「Microsoft Office」の文書作成ソフトWordと表計算ソフトExcelの基本操作ができることは、仕事をする上では最低限求められるスキルです。発表用スライドを作成するためにはPowerPointも必要です。将来、独立開業をする場合も想定してホームページ作成もできるようにします。情報社会学では、Wordでビジネス文書の作成やポスターの作成ができます。Excelで表の作成やグラフの作成ができます。PowerPointではスライドを作成し、発表をすることができます。ホームページ制作では、パーツの組み合わせでホームページを作成することができます。

※実務者経験：専門学校にてWord、Excel、PowerPoint、ホームページ制作などのPCに関する授業を約19年行う。就労移行支援事業所のPC講座を約8年行い継続中。また、Web関係のプログラミングを中心としたIT関連の業務を主に行っている。基本情報処理技術者、MOS(Excel2019)、工業高校教員2級を所持。

【到達目標】

- Word: 基本操作を覚えることで、簡単なビジネス文書作成や図形、イラスト、写真などを使った視覚的な書類の作成ができる。
- Excel: 基本操作や基本関数を覚えることで、計算式の入った表やグラフを作成できる。
- PowerPoint: 基本操作を覚え、スライド作成の手順を学ぶことで、見やすく説得力のあるスライドを作成し発表をすることができる。
- ホームページ制作: ホームページを作る上での注意することやパーツを組み合わせる基本操作によりホームページとは何かを理解し作成することができる。
- タイピング練習: タイピングのスコアが最初よりも+10以上上がり、タイピングスピードが速くなる。

授業計画・内容

1回目	ITガイダンス メールアドレスの設定が完了する。	16回目	Excel1 基本的な表を作成することができる。
2回目	Word1 基本的な操作を覚えビジネス文書を作成できる。	17回目	Excel2 グラフの作成をすることができる。
3回目	Word2 表を作成する操作を覚え、表のあるビジネス文書を作成できる。	18回目	Excel3 グラフの作成をすることができる。表とグラフを印刷することができる。
4回目	Word3 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。	19回目	Excelで表とグラフを作成することができる(中間試験)
5回目	Word4 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。	20回目	ホームページ制作1 ホームページの概要がわかる。Jimdoのアカウントを作成する。
6回目	Wordで図形や画像の入った文書を作成することができる(中間試験)	21回目	ホームページ制作2 Jimdoの操作方法がわかる。
7回目	PowerPoint1 プレゼンのストーリーの作り方やスライド作成ができる。	22回目	ホームページ制作3 Jimdoの操作方法がわかる。
8回目	PowerPoint2 スライド作成ができる。	23回目	ホームページ制作4 Jimdoの操作方法がわかる。
9回目	PowerPoint3 作成したスライドにアニメーションなどの動きを入れることができる。	24回目	ホームページ制作5 Jimdoの操作方法がわかる。
10回目	PowerPoint4 グループ発表のプレゼンテーションを作成できる。	25回目	ホームページ制作6 Jimdoを使って課題となっているホームページを制作することができる。
11回目	PowerPoint5 グループ発表のプレゼンテーションを作成できる。	26回目	ホームページ制作7 Jimdoを使って課題となっているホームページを制作することができる。
12回目	PowerPoint6 グループ発表のプレゼンテーションを作成できる。	27回目	ホームページ制作8 Jimdoを使って課題となっているホームページを制作することができる。
13回目	PowerPoint7 グループ発表のプレゼンテーションを作成できる。	28回目	ホームページ制作9 Jimdoを使って課題となっているホームページを制作することができる。
14回目	PowerPoint8 作成したスライドを用いて、グループ発表発表ができる。(期末試験)	29回目	ホームページ制作10 課題となっているホームページを完成させることができる。(期末試験)
15回目	PowerPoint9 グループプレゼンの講評を行い、プレゼンを行う機会に役に立てることができる。	30回目	ホームページ制作11 クラス全員のホームページを見て自分の作成したホームページとの違いを理解することができる。

準備学習
時間外学習

○タイピング練習 タイピング練習は自主的に1日10分でもいいので行ってください。タイピングが速くなると、入力が楽になり、編集作業が速くなります。

○Word 基本的な操作を習得するためには、講義の復習が必要です。

○Excel 基本的な操作を習得するためには、講義の復習が必要です。

○PowerPoint 発表用のスライドを完成させるためには授業時間だけでは不足します。時間外もスライドの作成をしてください。

○ホームページ制作 課題を完成させるためには授業時間だけでは不足します。時間外もホームページの作成をしてください。

評価方法	1. 定期試験(90%) 2. 小テスト(0%) 3. レポート(0%) 4. 課題成果(10%) 5. 実地試験(0%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	○タイピングの成績が+10以上のスコアを取得できていれば目標到達として評価を行う。 ○Word、Excelは定期テストにて評価を行う。 ○PowerPointは定期テストにて評価を行う。 ○ホームページ制作は定期テストにて評価を行う。
------	---	--	--

受講生へのメッセージ

情報社会学では、Word、Excel、PowerPointの基本的な操作方法とホームページ制作の概要を中心に授業を進めます。「パソコンは嫌い」という人の大半は過去の「できない」経験をそのまま引きずっていることが多いです。しかし、パソコンは便利な道具です。その便利さをこの授業を通して少しでも理解してもらいたいと思っています。既に基本操作は知っている人は復習を行うと覚えてもらえればと思います。

【使用教科書・教材・参考書】

- テキスト 30時間アカデミック 情報基礎 Word&Excel2019、30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2019(実教出版)・プリント
- データ保存のための記録媒体 USBフラッシュメモリ

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	コミュニケーション論 (Communication Theory)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	古川 実里
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	15	開講区分	前期
コース	I部			(単位)	1	曜日・時限	月曜日・3限

【授業の学習内容】

「コミュニケーションスキルとは何だろうか?」という疑問から出発し、以下のようなテーマに沿って授業を行う。
 ①適切な会話のためのスキルの習得、②程よい自己主張の仕方の実技、③感情のコントロールの仕方の習得、④社会で必要とされるマナーに関する知識の習得、など。
 適宜コミュニケーションワークなどを取り入れるため、積極的に参加することが望ましい。
 ※実務者経験…2018年より現在まで大学併設カウンセリングセンターに在籍し、カウンセリング業務に従事。

【到達目標】

医療人・社会人として求められる様々なコミュニケーションスキルについて学び、患者や他職種を含む医療スタッフに対して適切な会話ややりとりが行えるようになること。

授業計画・内容

1回目	コミュニケーションの定義と会話のプロセスについて理解できる。
2回目	適切な話し方と聴き方～傾聴のスキルを中心に～について理解できる。
3回目	自己表現①～挨拶の基本～について理解できる。
4回目	自己表現②～アサーション～について理解できる。
5回目	自己表現③～感情のコントロール～について理解できる。
6回目	社会的マナー①～敬語表現～について理解できる。
7回目	社会的マナー②～電話対応と接客～について理解できる。
8回目	サービスマインドについて理解できる。
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習 時間外学習

予習: 授業はテキストに沿って行うため、あらかじめテキストに目を通しておくこと。
 復習: 毎回課題として、その授業回で取り扱った内容に関する問題を記載したプリントを配布する。次回授業までに必ず問題を解いておくこと。尚、課題は翌授業時に提出とする。

評価方法	1. 定期試験(60%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(40%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	コミュニケーションスキルアップ検定: 60% 平常点(出席・授業態度・課題提出を含む): 40%
------	--	--	---

受講生へのメッセージ
 対人援助職を目指す皆さんにとって、「患者さんといかに信頼関係を築くか」ということはとても大切な問題です。この授業では、医療人として、そして社会人として求められる様々なコミュニケーション上の技術を学びます。難しく考えすぎずに、日ごろの自分のコミュニケーションの在り方を振り返りながら楽しく学習していきましょう!

【使用教科書・教材・参考書】

テキスト: 『コミュニケーションスキルアップ検定』(滋慶教育科学研究所)

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	解剖学 I (Anatomy I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	梅村 勇介
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	前期
コース	I 部			(単位)	2	曜日・時限	木曜日・3限 金曜日・1限

【授業の学習内容】

各器官とその系統(生命活動を支える統合的構成物である器官の種類)について理解し、中でも運動器系における各部位の構造と主たる機能について学習し、本授業修了時には。①骨格系:人体を構成する骨の名称、各部位名および関節・靭帯について
②筋系:人体を構成する筋の名称、付着部位、作用および神経について各々説明できるようになる。
実務者経験:大学院(鍼灸学博士前期(修士)課程修了)大学院では、筋肉の痛みとトリガーポイントについて臨床・研究を行っていた。また、SoAir鍼灸院岡町にて臨床に関わる。

【到達目標】

医学の根本的な基盤となるのが解剖学であり、正常な人体の形態と構造について、各部位の構造と主たる機能について理解することができる。人体の構造物(この科目では主として組織構造、骨・筋・神経)について理解し説明することができる。

<具体的な目標>

- ①骨の各部位の名称を理解し説明できる。
- ②各筋の起始・停止・作用を理解し説明できる。
- ③各神経の走行を理解し説明できる。

授業計画・内容

1回目	人体の外形と方向用語がわかりかえる。	16回目	関節の動きと筋の動きが理解できる。
2回目	器官とその系統が理解できる。	17回目	上肢の筋と運動が理解できる。
3回目	上肢の骨格構造が理解できる。	18回目	上肢の筋と運動が理解できる。
4回目	上肢の骨格構造が理解できる。	19回目	体幹の筋と運動が理解できる。
5回目	下肢の骨格構造が理解できる。	20回目	体幹の筋と運動が理解できる。
6回目	下肢の骨格構造が理解できる。	21回目	下肢の筋と運動が理解できる。
7回目	下肢の骨格構造が理解できる。	22回目	下肢の筋と運動が理解できる。
8回目	骨格・関節の構造が理解できる。	23回目	上肢の神経が理解できる。
9回目	脊柱の構造が理解できる。	24回目	体幹の神経が理解できる。
10回目	胸郭の構造が理解できる。	25回目	下肢の神経が理解できる。
11回目	頭蓋骨の構造が理解できる。	26回目	皮膚分節について理解できる。
12回目	頭蓋骨の構造が理解できる。	27回目	頸部と上腕の局所解剖について理解できる。
13回目	組織と細胞が理解できる。	28回目	体幹の局所解剖について理解できる。
14回目	組織と細胞が理解できる。	29回目	下肢の局所解剖について理解できる。
15回目	まとめ	30回目	まとめ

準備学習
時間外学習

各授業は第1回からすべてフローで進んでいくため必ず前回の授業内容について復習が必要です。
①筋の学習では、骨の各部位の名称について復習が必要です。
②神経の学習では、骨の各部位の名称と筋の走行について復習が必要です。

評価方法

1. 定期試験(100%)
2. 小テスト(%)
3. レポート(%)
4. 課題成果(%)
5. 実地試験(%)

評価方法はGPA制度となります
100~90点 S
89~80点 A
79~70点 B
69~60点 C
59点以下 F不合格

中間試験(50%) 期末試験(50%)
各試験を100点満点とし、60点以上を合格とする。
各本試験で59点未満に際は再試験を行う。

受講生への
メッセージ

病気の診断・治療・リハビリテーションなどを行う医学の諸領域も、すべて正常な体の構造についての知識なくしては出発することはできない。解剖学をしっかり学び、理解することで、その形態または働きに問題が生じたときのような症状を呈すのかを想像しやすくなります。それにより各疾患や治療方法についての理解も深まります。覚えることが多いかもしれませんが、しっかりと学びましょう。また、学校の授業だけでなく生活の中でも医学に関する情報に積極的に触れるよう関心を持ちましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書:解剖学 第2版(医歯薬出版株式会社)

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	解剖学Ⅱ (Anatomy Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	池田 晋太郎
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	後 期
コース	I 部			(単位)	2	曜日・時限	水曜日・1限 金曜日・1限

【授業の学習内容】
 鍼灸治療は人体に直接触れて施術を行うものであり、施術する身体の部位に、どの臓器がどのような構造で、どの位置にあるのかを理解しておく必要があり、その第一歩が人体形態学の解剖学である。
 解剖学では人体の基本的な構造や機能について理解していく。
 ※実務経験：鍼灸教員養成課程修了
 鍼灸整骨院にて鍼灸治療に従事し、また登録販売者として医薬品の提案・販売業務にも携わる。

【到達目標】
 正常な人体の形態と構造について、各部位の構造と主たる機能について理解することができる。
 生体内の構造である循環器・呼吸器・消化器・神経の構造や位置関係について理解・説明することができる。
 <具体的な目標>
 ①各臓器の特徴の形態を理解し説明できる。
 ②各臓器と他の臓器との繋がりと関係性について理解し説明できる。
 ③各臓器の機能について理解し説明できる。

授業計画・内容

1回目	循環器の概要および血管の構造について理解できる	16回目	消化器の概要および消化管の基本構造について理解できる
2回目	心臓の位置と構造について理解できる	17回目	口腔・咽頭の構造について理解できる
3回目	体幹部の動脈系の構造と分布について理解できる	18回目	食道・胃の位置と構造について理解できる
4回目	四肢部の動脈系の構造と分布について理解できる	19回目	小腸・大腸の位置と構造について理解できる
5回目	頭蓋部の動脈系の構造と分布について理解できる	20回目	肝臓・胆嚢・膵臓の位置と構造について理解できる
6回目	四肢部の静脈系の構造と分布について理解できる	21回目	消化器系の復習
7回目	頭蓋部の静脈系の構造と分布について理解できる	22回目	神経系の概要について理解できる
8回目	体幹部の静脈系の構造と分布について理解できる	23回目	脳幹の位置と構造について理解できる
9回目	胎児循環の経路と切り替わりについて理解できる	24回目	小脳・間脳の位置と構造について理解できる
10回目	リンパ系の全体像と構造について理解できる	25回目	大脳の位置と構造について理解できる①
11回目	リンパ系器官の構造について理解できる	26回目	大脳の位置と構造について理解できる②
12回目	循環器系の復習	27回目	伝導路について理解できる
13回目	呼吸器系の概要および鼻腔・咽頭・喉頭の位置と構造について理解できる	28回目	脳神経の構造と分布について理解できる①
14回目	気管・気管支・肺の位置と構造について理解できる	29回目	脳神経の構造と分布について理解できる②
15回目	呼吸器系の復習	30回目	神経系の復習

準備学習
時間外学習

各臓器の構造について機能学(生理学)と合わせ復習する必要がある。
 ①各臓器の特徴的な構造について他臓器との違いを常に復習する。
 ②医学用語が多く、文章を読み解くことが難しいため、知識定着のための予習・復習を必ず行う。

評価方法	1. 定期試験(100%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	中間試験(50%) 期末試験(50%) 各試験を100点満点とし、60点以上を合格とする。 各本試験で60点未満に際は再試験を行う。
------	---	--	--

受講生への
メッセージ

実際に臓器を見る・触れることはできませんが、イラストを自分で描いてみてイメージを膨らませてください。
 また臨床系の応用科目や実技科目においても、基礎知識となる内容を多く含むため、苦手な箇所は早めに克服できるよう日々少しずつで構わないので、自己学習の時間を作っていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
 教科書：解剖学 第2版(医歯薬出版株式会社)
 解剖学トレーニングノート 第7版(医学教育出版社)

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	生理学 I (Physiology I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中里 亮太
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	前期
コース	I 部			(単位)	2	曜日・時限	水曜日・2限 木曜日・1限

【授業の学習内容】

「身体の様々な器官がどのように働き、いかにして生命活動を営んでいるのか。」その仕組みを学ぶことが目的である。単一細胞の働き方から出発して、各種臓器の働きを理解する。さらに、臓器間の相互作用を学習することにより、個体の正常で健康な状態が各臓器システムのバランスのとれた相互関係の上に成り立っていることを知る。また、正常な機能のみでなく個体が疾病に犯された時の異常機能状態、即ち病態生理学の一部についても学ぶ。

教科担当者：鍼灸教員養成課程修了 よみうりランド鍼灸整骨院にて臨床に携わる。

【到達目標】

1. 細胞を構成する要素と、各構成要素の機能を説明できる。
2. 細胞の基本的な機能について、説明できる。
3. 人体の階層性と位置関係を、的確な用語で説明できる。
4. 人体の恒常性と、それを維持するしくみを説明できる。
5. 人体を構成する器官系について、それぞれの構造と機能を説明できる。

授業計画・内容

1回目	生理機能の特徴、細胞の構造の説明ができる	16回目	各栄養素の働きとエネルギー代謝について説明ができる①
2回目	細胞の機能、物質代謝について説明ができる	17回目	各栄養素の働きとエネルギー代謝について説明ができる②
3回目	体液の組成、物質移動について説明ができる	18回目	消化管の運動と調節について説明ができる①
4回目	血液の働きと組成について説明ができる	19回目	消化管の運動と調節について説明ができる②
5回目	止血、線維性溶解について説明ができる	20回目	消化液の働きと調整、ホルモンについて説明ができる①
6回目	血液型、心臓血管系の説明ができる	21回目	消化液の働きと調整、ホルモンについて説明ができる②
7回目	心臓の構造と働きについて説明ができる	22回目	吸収の機序、肝臓の機能について説明ができる①
8回目	血液循環について説明ができる	23回目	吸収の機序、肝臓の機能について説明ができる②
9回目	循環の調整について説明ができる	24回目	吸収の機序、肝臓の機能について説明ができる③
10回目	内呼吸・外呼吸、呼吸器系の機能構造を理解する	25回目	体温調整、産熱と放散について説明ができる
11回目	換気とガス交換について説明ができる	26回目	発汗調整の仕組み、体温調整の障害について説明ができる
12回目	呼吸運動とその調整について説明ができる	27回目	生体の防御機構について説明できる。①
13回目	栄養素の働き、代謝について説明ができる①	28回目	生体の防御機構について説明できる。②
14回目	栄養素の働き、代謝について説明ができる②	29回目	生体の防御機構について説明できる。③
15回目	まとめ・復習	30回目	まとめ・復習

準備学習
時間外学習

特に初学時は慣れない専門用語の理解に難儀するため、授業前に教科書を読み用語に触れておくなどの予習が必要です。また、随時確認テストを行いますので、こまめに復習を行うこと。

評価方法

1. 定期試験(100%)

評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F不合格

中間試験(50%) 期末試験(50%)
各試験を100点満点とし、60点以上を合格とする。
各本試験で59点未満には再試験を行う。

受講生への
メッセージ

生理学を学ぶことにより、日常的に自分の体に起きている事象について説明することができます。ただ暗記するだけでなく様々な実体験と関連付け、常に「なぜだろう?」と考えながら興味を持って参加して下さい。メリハリを持って一緒に頑張りましょう!

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：生理学 第3版(医歯薬出版株式会社)

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	生理学Ⅱ (PhysiologyⅡ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中里 亮太
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	後期
コース	I部			(単位)	2	曜日・時限	水曜日・2限 木曜日・1限

【授業の学習内容】

「身体の様々な器官がどのように働き、いかにして生命活動を営んでいるのか。」その仕組みを学ぶことが目的である。単一細胞の働き方から出発して、各種臓器の働きを理解する。さらに、臓器間の相互作用を学習することにより、個体の正常で健康な状態が各臓器システムのバランスのとれた相互関係の上に成り立っていることを知る。また、正常な機能のみでなく個体が疾病に犯された時の異常機能状態、即ち病態生理学の一部についても学ぶ。

教科担当者：鍼灸教員養成課程修了 よみうりランド鍼灸整骨院にて臨床に携わる。

【到達目標】

1. 細胞を構成する要素と、各構成要素の機能を説明できる。
2. 細胞の基本的な機能について、説明できる。
3. 人体の階層性と位置関係を、的確な用語で説明できる。
4. 人体の恒常性と、それを維持するしくみを説明できる。
5. 人体を構成する器官系について、それぞれの構造と機能を説明できる。

授業計画・内容

1回目	内分泌の特徴を理解することができる。	16回目	末梢神経系の分類について理解することができる。
2回目	視床下部と下垂体に関わるホルモンを理解できる。	17回目	自律神経系の概要を理解することができる。
3回目	甲状腺・副甲状腺に関わるホルモンを理解できる。	18回目	自律神経系の伝達物質や受容体について理解ができる。
4回目	副腎・膵臓・性ホルモンについて理解できる。	19回目	自律神経に関わる反射について理解することができる。
5回目	内分泌の復習を行い理解を深めることができる。	20回目	神経系の復習を行い理解を深めることができる。
6回目	ニューロンの構造について理解することができる。	21回目	骨格筋の構造と働きについて理解することができる。
7回目	神経線維の興奮伝導について理解することができる。	22回目	興奮収縮連関について理解することができる。
8回目	シナプス伝導について理解することができる。	23回目	筋のエネルギー供給の仕組みについて理解できる。
9回目	中枢神経の分類について理解することができる。	24回目	心筋や平滑筋について特徴を理解することができる。
10回目	反射の概要を理解することができる。	25回目	筋の復習を行い理解を深めることができる。
11回目	脊髄の構造と働きについて理解することができる。	26回目	骨格筋に関わる神経について理解することができる。
12回目	脳幹・視床・視床下部について理解することができる。	27回目	運動の調節について理解することができる。
13回目	大脳皮質の機能局在について理解することができる。	28回目	錐体路・錐体外路について理解することができる。
14回目	大脳基底核や大脳辺縁系について理解できる。	29回目	発声と言語・運動の復習を行い理解を深めることができる。
15回目	まとめ・復習	30回目	まとめ・復習

準備学習
時間外学習

特に初学時は慣れない専門用語の理解に難儀するため、授業前に教科書を読み用語に触れておくなどの予習が必要です。

評価方法

1. 定期試験(100%)

評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F不合格

中間試験(50%) 期末試験(50%)
各試験を100点満点とし、60点以上を合格とする。
各本試験で59点未満に際は再試験を行う。

受講生への
メッセージ

生理学を学ぶことにより、日常的に自分の体に起きている事象について説明することができます。ただ暗記するだけでなく様々な実体験と関連付け、常に「なぜだろう?」と考えながら興味を持って参加して下さい。メリハリを持って一緒に頑張りましょう!

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：生理学 第3版(医歯薬出版株式会社)

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学 I (Anatomical Physiology I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	早野 徳俊
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	後 期
コース	昼間			(単位)	1	曜日・時限	木曜日・1限

【授業の学習内容】

人体の構造と働きについて学び、臨床において必要となる疾患の病態生理を理解するのに役立てることが出来る。また、診察における病態把握や施術に活かすことが出来るようになる。

※実務経験： 教員養成課程修了。

2003年から臨床に携わり東洋医学療法の一つ「経絡治療」で運動器疾患をはじめ、内科・婦人科疾患も扱う。

【到達目標】

①免疫系の構造と働きを学ぶ。②泌尿器系の構造と働きを学ぶ。③生殖器系の構造と働きを学ぶ。④感覚器系の構造と働きを学ぶ。

授業計画・内容

1回目	生物学レベルの確認テストを行い自分の苦手分野を見つける。
2回目	生体防御機構について理解ができる。
3回目	免疫反応の分類について理解ができる。
4回目	腎臓の働きについて理解ができる。
5回目	尿生成と体液調節について理解ができる。
6回目	畜尿・排尿について理解ができる。
7回目	生殖器の構造について理解ができる。
8回目	男性生殖器について理解ができる。
9回目	女性生殖器について理解ができる。
10回目	成長と老化について理解ができる。
11回目	感覚の分類と性質について理解ができる。
12回目	痛覚について理解ができる。
13回目	味覚・嗅覚について理解ができる。
14回目	聴覚・平衡感覚について理解ができる。
15回目	視覚について理解ができる。
16回目	期末試験 解説

準備学習
時間外学習

人体の構造と機能は一度聴講しただけでは知識の定着が難しいため、よく復習(日常で使う)すること。

評価方法

1. 定期試験(100%)
2. 小テスト(%)
3. レポート(%)
4. 課題成果(%)
5. 実地試験(%)

評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F不合格

定期試験を100点満点とし、60点以上を合格とする。
各本試験で59点未満の際は再試験を行う。

受講生への
メッセージ

苦手分野は早期の発見が吉です。この段階で苦手が見つかったことをポジティブに捉えて国家試験へ向け一緒に克服しましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：東洋療法学校協会編：解剖学、生理学（医歯薬出版株式会社）

参考書：藤田恒夫 著：入門人体解剖学（南江堂）

※その他 配布プリント

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	衛生学・公衆衛生学 (Public Health)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋 菜摘
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	前期・後期
コース	I 部			(単位)	2	曜日・時限	木曜日・3限

【授業の学習内容】

医療従事者として疾病予防と健康の保持・増進に必要な概念を幅広く習得するとともに、我が国あるいは世界規模の公衆衛生の現況と問題点、未来予想について説明できる。

＜具体的な目標＞

各単元について修得し、説明できるようになる。

教科担当者は鍼灸科教員養成課程修了

【到達目標】

衛生学と公衆衛生学は、疾病予防と健康の保持・増進のための科学であり、活動である。はり師、きゅう師の実務においても施術に関する技術とともに、病気の予防や健康増進の知識およびこれらが展開される保健福祉の法制・倫理の両方をわきまえておくことが必要不可欠であることを踏まえ、我が国の、あるいは世界規模の公衆衛生について説明ができる。

また、安全な施術の実践のために感染症・消毒法について説明できることを目標とする。

授業計画・内容

1回目	「第1章 衛生学・公衆衛生学の意義」について説明できる	16回目	「第8章 成人・高齢者保健」について説明できる ①
2回目	「第2章 健康」について説明できる	17回目	「第8章 成人・高齢者保健」について説明できる ②
3回目	「第3章 ライフスタイルと健康」について説明できる ①	18回目	「第9章 感染症とその対策」について説明できる ①
4回目	「第3章 ライフスタイルと健康」について説明できる ②	19回目	「第9章 感染症とその対策」について説明できる ②
5回目	「第3章 ライフスタイルと健康」について説明できる ③	20回目	「第9章 感染症とその対策」について説明できる ③
6回目	「第4章 環境と健康」について説明できる ①	21回目	「第9章 感染症とその対策」について説明できる ④
7回目	「第4章 環境と健康」について説明できる ②	22回目	「第10章 消毒法」について説明できる ①
8回目	「第4章 環境と健康」について説明できる ③	23回目	「第10章 消毒法」について説明できる ②
9回目	「第4章 環境と健康」について説明できる ④	24回目	「第10章 消毒法」について説明できる ③
10回目	「第5章 産業保健」について説明できる ①	25回目	「第11章 疫学」について説明できる ①
11回目	「第5章 産業保健」について説明できる ②	26回目	「第11章 疫学」について説明できる ②
12回目	「第6章 精神保健」について説明できる ①	27回目	「第12章 保健統計」について説明できる ①
13回目	「第6章 精神保健」について説明できる ②	28回目	「第12章 保健統計」について説明できる ②
14回目	「第7章 母子保健」について説明できる ①	29回目	「第12章 保健統計」について説明できる ③
15回目	「第7章 母子保健」について説明できる ②	30回目	「第12章 保健統計」について説明できる ④

準備学習
時間外学習

・感染症をはじめ、国内および世界での公衆衛生の現状を時事的に把握しておく。
・日々起こっている事象に目を向け、自身の考えをまとめる。

評価方法

定期試験 70%
小テスト点 15%
発表点 15%

評価方法はGPA制度となります

100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F 不合格

定期試験は100点満点で実施し、70%換算とする。
ねんおしテスト(小テスト)は授業内で行う。
興味関心のあるニュースについて授業内で発表を行う。

受講生への
メッセージ

公衆衛生は医療人にとって必要な知識ではありませんが、行政が一般市民に対して行うサービスの基幹となる部分です。私たちの生活に関わることも多くあります。まずは、私たちが住む地域のとりくみなどに目を向けながら学んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書： 東洋療法学校協会編：衛生学・公衆衛生学(医歯薬出版株式会社)

参考書： 公衆衛生がみえる(メディックメディア)、厚生労働省HP、国立感染症HP など

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	医療概論 (Medicine Introduction)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	伊藤 昌幸
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	I 部			(単位)	2	曜日・時限	水曜日・1限

【授業の学習内容】

医療の全体像を論じることを通して、医療の原点とその社会的展開を考えていく。
特に東洋医学史を学び、東洋医がどのように発展してきたかを学ぶ。
また、中国より伝わった医学が日本にてどのように発展・普及したかを学ぶ。

実務者経験：教員養成科終了。個人宅、介護施設などへの往診治療中心の治療院を開業し臨床に携わる。

【到達目標】

「医療とは何か」、「医療の目指すものは何か」「医療従事者のとるべき態度はどのようなものか」などを自分自身で理解できるようにする。
現在の日本の医療は、専門性が異なる様々なメディカルスタッフがチームを組み、さらに福祉関係など医療と関連する分野の職種とも連帯を取っている。そのため多職種の専門性と医療全体を見渡す広い視野を身につけていく。

鍼灸に関わるものとして、東洋医学がどのように変化・発展を繰り返し、現在に至っているかを理解できるようにする。

授業計画・内容

1回目	中国医学について理解できる①		
2回目	中国医学について理解できる②		
3回目	中国医学について理解できる③		
4回目	中国医学について理解できる④		
5回目	中国医学について理解できる⑤		
6回目	中国医学について理解できる⑥		
7回目	中国医学について理解できる⑦		
8回目	中国医学について理解できる⑧		
9回目	日本医学について理解できる①		
10回目	日本医学について理解できる②		
11回目	日本医学について理解できる③		
12回目	日本の医療制度について理解できる①		
13回目	日本の医療制度について理解できる②		
14回目	日本の医療制度について理解できる③		
15回目	まとめ		
準備学習 時間外学習			
評価方法	・期末試験(筆記)(100%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	①期末試験は筆記試験を行う。
受講生への メッセージ	東洋医学概論で学ぶ内容が、どのように形成されてきて今に至るかが、少しでも理解していただき、東洋医学を好きになってほしいです。 医療の歴史を学び、先人の功績を学びましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：医療概論(医歯薬出版株式会社)

参考書：プリント
ノート、筆記用具

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	東洋医学概論 I (Oriental Medicine Introduction I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	池田 晋太郎
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	通 年
コース	I 部			(単位)	2	曜日・時限	金曜日・2限

【授業の学習内容】

東洋医学は、西洋医学とは全く異なり、自然界や人間界の観点から、健康状態や病的な状態を診察し、治療を行う。また、東洋医学は鍼灸治療を行う上で必須の科目であり、本科目ではこれらに係る基礎知識を身に付ける。

※実務経験：鍼灸教員養成課程修了

鍼灸整骨院にて鍼灸治療に従事し、また登録販売者として医薬品の提案・販売業務にも携わる。

- ① 東洋医学における概念・用語を理解し、説明ができる。
- ② 東洋医学における体のとらえ方を理解し、説明ができる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション(東洋医学の特色)	16回目	肝・胆の生理が理解できる
2回目	陰陽学説が理解できる	17回目	肝・胆の病理と鑑別が理解できる
3回目	五行学説が理解できる①	18回目	心・小腸の生理が理解できる
4回目	五行学説が理解できる②	19回目	心・小腸の病理と鑑別が理解できる
5回目	精の生理と病理が理解できる	20回目	脾・胃の生理が理解できる
6回目	気の生理が理解できる	21回目	脾・胃の病理と鑑別が理解できる
7回目	気の病理が理解できる	22回目	肺・大腸の生理が理解できる
8回目	血の生理と病理が理解できる	23回目	肺・大腸の病理と鑑別が理解できる
9回目	津液の生理と病理が理解できる	24回目	腎・膀胱の生理が理解できる
10回目	生体物質の相互関係(気血津液)が理解できる	25回目	腎・膀胱の病理と鑑別が理解できる
11回目	神の生理と病理が理解できる	26回目	心包・三焦の生理と病理が理解できる
12回目	陰陽の生理と病理が理解できる	27回目	五臓の相互関係が理解できる①
13回目	蔵象学説の概要が理解できる	28回目	五臓の相互関係が理解できる②
14回目	陰陽五行の復習	29回目	五臓と気機が理解できる
15回目	気血津液の復習	30回目	蔵象学説の総まとめ

準備学習
時間外学習

普段から、自身や家族の体調の変化を、学習した東洋医学の世界観に置き換えて観察してみる。

評価方法

1. 定期試験(%)
2. 小テスト(%)
3. レポート(%)
4. 課題成果(%)
5. 実地試験(%)

評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F不合格

定期試験100%

受講生への
メッセージ

東洋医学は鍼灸治療を行う上では欠かせない科目であり、国家試験においても多くの科目は東洋医学概論を基礎として出題されています。初めは、考え方や専門用語など難しく感じる面も多々あるかと思いますが、言葉だけを捉えるのではなく、言葉やイメージしながら東洋医学に触れてみて下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：新版東洋医学概論(医道の日本社)・図説 東洋医学(学研)

配布物：プリント

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	経絡経穴概論 I (Outline of the Meridians Acupuncture Points I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	伊藤 昌幸
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	90	開講区分	通 年
コース	I 部			(単位)	3	曜日・時限	木曜日・2限

【授業の学習内容】

経絡・経穴とは日々の針灸臨床のために理論的根拠を提供するものである。「東洋医学概論」は東洋医学独自の哲学観・生理観・疾病観・診断論・治療論を提供しているのに対し、「経絡経穴概論」は臨床で経穴を用いる場合、どのような考えに基づいて治療穴を選択するのか、その根拠を提供するものになる。よってこの「経絡経穴概論」では、臨床での治療穴を決定するために、経絡と臓腑の関係、経絡と経絡の関係、経絡の循行と身体各部位の関係、経絡の主治法則、経絡と経穴との関係、経穴の主治法則、主治範囲などの一般法則を学習していきます。
実務者経験：教員養成科終了。個人宅、介護施設などへの往診治療中心の治療院いせやを開業し臨床に携わる。

【到達目標】

- ①経絡・経穴の分類と命名について説明できる。
- ②経穴定位が説明できる。
- ③経絡・経穴の手治法右側について説明できる。
- ④各経絡の循行部位を説明できる。
- ⑤経穴名を説明できる。

授業計画・内容

1回目	経穴の概要を理解することができる	16回目	足の太陰脾経の経穴③の知識を習得できる
2回目	経穴の概要、要穴、骨度法について説明ができる	17回目	手の小陰心経の経穴①の知識を習得できる
3回目	督脈の経穴①の知識を習得できる	18回目	手の太陽小腸経の経穴①の知識を習得できる
4回目	督脈の経穴②の知識を習得できる	19回目	手の太陽小腸経の経穴②の知識を習得できる
5回目	任脈の経穴①の知識を習得できる	20回目	足の太陽膀胱経の経穴①の知識を習得できる
6回目	任脈の経穴②の知識を習得できる	21回目	足の太陽膀胱経の経穴②の知識を習得できる
7回目	手の太陰肺経の経穴①の知識を習得できる	22回目	足の太陽膀胱経の経穴③の知識を習得できる
8回目	手の太陰肺経の経穴②の知識を習得できる	23回目	足の太陽膀胱経の経穴④の知識を習得できる
9回目	手の陽明大腸経の経穴①の知識を習得できる	24回目	
10回目	手の陽明大腸経の経穴②の知識を習得できる	25回目	
11回目	足の陽明胃経の経穴①の知識を習得できる	26回目	
12回目	足の陽明胃経の経穴②の知識を習得できる	27回目	
13回目	足の陽明胃経の経穴③の知識を習得できる	28回目	
14回目	足の太陰脾経の経穴①の知識を習得できる	29回目	
15回目	足の太陰脾経の経穴②の知識を習得できる	30回目	

準備学習
時間外学習

まずは教科書を開きましょう。次に経穴名を眺めましょう。そして色々な漢字が存在していることを受け入れましょう。そして「読み方」を覚えてください。その「読み方」を覚えたら何回も反復して声に出してください。

評価方法	・平常点(20%) ・期末試験(筆記)(80%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	①平常点は欠席・遅刻・早退・忘れ物・提出物の期限・授業態度を減点方式で計算していく。ただし、減点は20%を越える場合は、さらに減点していく。 ②期末試験は筆記試験を行う。 ③成績は①+②の合計とする。
------	-----------------------------	--	--

受講生への
メッセージ

生きている人間を対象とする「臨床」は、ダイナミックなものです。その臨床で鍼灸治療の基本ともいべき経穴を用いて治療を行います。その際、「なぜこの経穴を使うのか?」、「なぜこの経穴に意味があるのか?」という疑問を持ち続けていただきたいです。そのために経絡・経穴を理解してください。人生で出会ったことのない「漢字」をたくさん学びます。カタカナは出てこないです。ですから拒絶反応確実です。構えることなく、自然体で経穴を受け入れてほしいです。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：東洋療法学校協会：経絡経穴概論(医歯薬出版株式会社)
その他配布資料

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	経絡経穴概論 I (Outline of the Meridians Acupuncture Points I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	伊藤 昌幸
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	90	開講区分	通 年
コース	I 部			(単位)	3	曜日・時限	木曜日・2限

【授業の学習内容】

経絡・経穴とは日々の針灸臨床のために理論的根拠を提供するものである。「東洋医学概論」は東洋医学独自の哲学観・生理観・疾病観・診断論・治療論を提供しているのに対し、「経絡経穴概論」は臨床で経穴を用いる場合、どのような考えに基づいて治療穴を選択するのか、その根拠を提供するものになる。よってこの「経絡経穴概論」では、臨床での治療穴を決定するために、経絡と臓腑の関係、経絡と経絡の関係、経絡の循行と身体各部位の関係、経絡の主治法則、経絡と経穴との関係、経穴の主治法則、主治範囲などの一般法則を学習していきます。

※実務経験：教員養成課程修了

【到達目標】

- ①経絡・経穴の分類と命名について説明できる。
- ②経穴定位が説明できる。
- ③経絡・経穴の手治法右側について説明できる。
- ④各経絡の循行部位を説明できる。
- ⑤経穴名を説明できる。

授業計画・内容

1回目	足の少陰腎経の経穴①の知識を習得できる	16回目	要穴について知識を習得できる①
2回目	足の少陰腎経の経穴②の知識を習得できる	17回目	要穴について知識を習得できる②
3回目	足の少陰腎経の経穴③の知識を習得できる	18回目	経絡経穴の現代的研究についての知識を習得できる①
4回目	手の厥陰心包経の経穴の知識を習得できる	19回目	経絡経穴の現代的研究についての知識を習得できる②
5回目	手の少陽三焦経の経穴①の知識を習得でき	20回目	胸腹部の経穴の取穴を習得できる
6回目	手の少陽三焦経の経穴②の知識を習得でき	21回目	腰背部の経穴の取穴を習得できる
7回目	手の少陽三焦経の経穴③の知識を習得でき	22回目	上肢の経穴の取穴を習得できる
8回目	足の少陽胆経の経穴①の知識を習得できる	23回目	下肢の経穴の取穴を習得できる
9回目	足の少陽胆経の経穴②の知識を習得できる	24回目	
10回目	足の少陽胆経の経穴③の知識を習得できる	25回目	
11回目	足の少陽胆経の経穴④の知識を習得できる	26回目	
12回目	足の厥陰肝経の経穴の知識を習得できる	27回目	
13回目	奇経八脈の知識を習得できる①	28回目	
14回目	奇経八脈の知識を習得できる②	29回目	
15回目	奇経八脈の知識を習得できる③	30回目	

準備学習
時間外学習

まずは教科書を開けましょう。次に経穴名を眺めましょう。そして色々な漢字が存在していることを受け入れましょう。そして「読み方」を覚えてください。その「読み方」を覚えたら何回も反復して声に出してください。

評価方法	・平常点(20%) ・期末試験(筆記)(80%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	①平常点は欠席・遅刻・早退・忘れ物・提出物の期限・授業態度を減点方式で計算していく。ただし、減点は20%を越える場合は、さらに減点していく。 ②期末試験は筆記試験を行う。 ③成績は①+②の合計とする。
------	-----------------------------	--	--

受講生への
メッセージ

生きている人間を対象とする「臨床」は、ダイナミックなものです。その臨床で鍼灸治療の基本ともいべき経穴を用いて治療を行います。その際、「なぜこの経穴を使うのか?」、「なぜこの経穴に意味があるのか?」という疑問を持ち続けていただきたいです。そのために経絡・経穴を理解してください。人生で出会ったことのない「漢字」をたくさん学びます。カタカナは出てこないです。ですから拒絶反応は確実です。構えることなく、自然体で経穴を受け入れてほしいです。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：東洋療法学校協会：経絡経穴概論（医歯薬出版株式会社）
 その他配布資料

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	はりきゆう理論 I (Acupuncture and Moxibustion Theory I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中里 亮太
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	15	開講区分	後 期
コース	I 部			(単位)	1	曜日・時限	金曜日・1限

【授業の学習内容】

鍼灸臨床における各手技の基本操作について学び本授業修了時には、各手技の期待される効果について説明できるようになる。
 鍼灸臨床上の衛生操作。リスク管理について学び、その予防方法、対処方法について学び、本授業修了時には安心・安全な鍼灸臨床について説明できるようになる。
 ※実務者経験 鍼灸科教員養成課程修了 鍼灸きのしたにて臨床に携わる

【到達目標】

実技を通して学んだ内容を机上にて再確認を行い、鍼灸臨床で用いる器具、技術、衛生的処置を理解し、患者に対しより良い術式かつ安全な施術を行うことができる。

＜具体的な目標＞

- ①はりきゆうの各手技の方法・目的とする効果について説明することができる。
- ②衛生操作の目的、方法について説明ができる。
- ③鍼灸における医療過誤について説明でき、その対処方法について説明できる。
- ④鍼灸の治効理論に関連した各種学説について説明することができる。

授業計画・内容

1回目	第1章・第2章：鍼の基礎知識について理解できる。
2回目	第3章刺鍼の方法と術式について理解できる。
3回目	第4章：特殊鍼法について理解できる。
4回目	第5章・第6章：灸の基礎知識、灸術の種類について理解できる。
5回目	第7章：鍼灸の臨床応用について理解できる。
6回目	第8章：鍼灸のリスク管理について理解できる。
7回目	第11章：鍼灸の関連学説について理解できる。
8回目	まとめと復習
9回目	
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

この授業には、実技で学んだ衛生操作、各手技の理解が必要不可欠です。
 目標①鍼灸治療における衛生操作について復習する必要がある。
 目標②実技で行ったはり・きゆうの各手技について必ず復習する必要がある。

評価方法

1. 定期試験(100%)

評価方法はGPA制度となります
 100～90点 S
 89～80点 A
 79～70点 B
 69～60点 C
 59点以下 F不合格

受講生への
メッセージ

はり師・きゆう師として、鍼灸治療に必要とする器具や様々な手技について理解を深め、患者に合わせたオーダーメイドの治療ができる知識技術を身につけ患者にとって最もよい治療手技を選択できるようにしましょう。また、安心・安全な治療を行えるよう衛生面やリスク管理の知識を身につけましょう。鍼灸治療の奥深さ・魅力をしっかりと楽しく学びましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

はりきゆう理論 (医道の日本社)

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	生体観察 (Biological Observation Science)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	梅村 勇介
学科	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	I 部			(単位)	1	曜日・時限	月曜日・3限

【授業の学習内容】

生体観察とは、鍼灸治療において患者の病態を把握する際に最も重要な能力である。
骨・筋を触診する、神経の走行を理解する、経穴を取穴するなど様々な場面で必要となるための人体の構造や指標を理解することができる。
実務者経験：大学院(鍼灸学博士前期(修士)課程修了)大学院では、筋肉の痛みとトリガーポイントについて臨床・研究を行っていた。
また、SoAir鍼灸院岡町にて臨床に関わる。

【到達目標】

触診時に必要な人体の指標が理解できる。
個人個人で異なる部位を観察し把握することができる。

授業計画・内容

1回目	人体の方向について理解できる。		
2回目	脊柱の構造について理解し触診することができる。		
3回目	肩甲骨の構造について理解し触診することができる。		
4回目	上肢帯について理解し触診することができる。		
5回目	下肢の骨について理解し触診することができる。		
6回目	下肢帯の構造について理解し触診することができる。		
7回目	中間試験		
8回目	上肢の筋と神経について理解し触診することができる。		
9回目	上肢の筋と神経について理解し触診することができる。		
10回目	下肢の筋と神経について理解し触診することができる。		
11回目	下肢の筋と神経について理解し触診することができる。		
12回目	体幹の筋について理解し触診することができる。		
13回目	体幹の筋について理解し触診することができる。		
14回目	総復習		
15回目	総復習		
準備学習 時間外学習	人体の構造と機能に関して必ず復習をしてください。 日常の中で人体の指標について意識し観察するようにしてください。		
評価方法	1. 定期試験(100%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	中間試験(50%) 期末試験(50%) 各試験を100点満点とし、60点以上を合格とする。 各試験で59点未満に際は再試験を行う。
受講生への メッセージ			

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料が中心。
副読本として、解剖学の教科書が必要。
ハーフパンツなど使用することがありますので準備をお願いします。

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	はり実技 I (Acupuncture practical Skills I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	遠藤 久子
学科	鍼灸科	授業 形態	実技	総時間	90	開講区分	前期
コース	I 部			(単位)	3	曜日・時限	月曜日・1限

【授業の学習内容】

実務者経験: 教員養成科を修了。
鍼灸師に必要な基礎的な鍼についての知識、刺鍼技術、衛生管理、考えられるリスクとその対処法を学び実践できる。

【到達目標】

鍼灸師として望ましい身だしなみ、立ち居振る舞いや言葉遣いをすることができる。
鍼灸師として患者に対し、インフォームドコンセントなどの医療倫理を実践することができる。
衛生操作や衛生管理、鍼の基本手技を正確かつ安全に配慮して患者へ施術することができる。
はり治療に使用する道具の各部の名称や鍼灸治療のリスクについて理解し、患者に対して説明できる。
治療中に不慮の事態が起こっても適切に対応することができる。

授業計画・内容

1回目	ガイダンス、実技使用する道具の確認。名称を覚える。	16回目	刺鍼角度の調節ができる。
2回目	実習ガイドライン・衛生操作について理解できる。	17回目	刺鍼深度の調節ができる。
3回目	鍼灸施術のリスクおよびリスク管理について説明できる。	18回目	直刺・斜刺・横刺ができる。①
4回目	片手挿管ができる。①	19回目	直刺・斜刺・横刺ができる。②
5回目	片手挿管ができる。②	20回目	試験前復習
6回目	刺鍼動作の基本を守り、安定した切皮ができる。	21回目	期末試験
7回目	自分の体に痛くなく切皮ができる。①	22回目	期末試験
8回目	刺鍼の一連動作ができる。(直刺)	23回目	予備日
9回目	旋撚刺法と送込み刺法がペアの足三里にできる。①		
10回目	旋撚刺法と送込み刺法がペアの大腸兪にできる。②		
11回目	取穴して直刺ができる。(大腸兪・腎兪)		
12回目	刺鍼深度の調節ができる。		
13回目	刺鍼深度の調節ができる。		
14回目	斜刺ができる。		
15回目	横刺ができる。		
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・各自での刺鍼動作の練習 ・経絡、経穴の予習や復習 ・授業開始前の身だしなみの確認 		
評価方法	平常点(10%) ・期末試験(90%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	平常点には出席、持ち物、身だしなみ、受講態度等が含まれる。
受講生への メッセージ	慣れない指の動きから始まりますが、練習をすれば必ず上達します。練習を怠らないでください。 はりきゅう実技は一週間の始まりで行います。自己の体調管理、身だしなみや忘れ物がないか気を配ってください。		

【使用教科書・教材・参考書】

ずっと使える！鍼灸臨床BOOK(滋慶出版)、
新版 臨床経穴概論 第2版(医歯薬出版株式会社)
はりきゅう理論(医道の日本社)
配布プリント等

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	はり実技 I (Acupuncture practical Skills I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	遠藤 久子
学科	鍼灸科	授業 形態	実技	総時間	90	開講区分	後 期
コース	I 部			(単位)	3	曜日・時限	月曜日・1限

【授業の学習内容】

実務者経験: 教員養成科を修了。

鍼灸師に必要な基礎的な鍼についての知識、刺鍼技術、衛生管理、考えられるリスクとその対処法を学び実践できる。現在に続いている十七手技について学び、実践できる。

【到達目標】

衛生操作や衛生管理、鍼の基本手技を正確かつ安全に配慮して患者へ施術することができる。

鍼灸師として患者に対し、インフォームドコンセントなどの医療倫理を実践し、患者がリラックスできるような立ち居振る舞いや適切な言葉がけをすることができる。指定された方法で指定された場所に適切に刺鍼することができる。

現在まで伝わる基本17手技や特殊鍼法を実践することができ、その特性や用途を理解し治療に用いることができる。

頻度の高い経穴を記憶し、取穴することができる。

授業計画・内容

24回目	前期の復習・確認	39回目	豪鍼の手技を使った鍼の一連動作ができる②
25回目	豪鍼の手技 単刺術・置鍼術・雀啄術ができる。	40回目	豪鍼の手技を使った鍼の一連動作ができる③
26回目	豪鍼の手技 間歇術・屋漏術・旋撚術ができる。	41回目	豪鍼の手技を使った鍼の一連動作ができる④
27回目	豪鍼の手技 回旋術・振せん術・内調術ができる。	42回目	試験前復習
28回目	豪鍼の手技 示指打打法・副刺激術ができる。	43回目	期末試験
29回目	豪鍼の手技 細指術・管散術ができる。	44回目	期末試験
30回目	豪鍼の手技 乱鍼術・鍼尖転移法ができる。	45回目	予備日
31回目	豪鍼の手技 刺鍼転向法ができる。		
32回目	豪鍼の手技 17手技を正確に行うことができる。		
33回目	豪鍼の手技 17手技を正確に行うことができる。		
34回目	特殊鍼法 小児鍼ができる。		
35回目	特殊鍼法 皮内鍼・円皮鍼ができる。		
36回目	特殊鍼法 灸頭鍼ができる。		
37回目	特殊鍼法 低周波鍼通電療法ができる。		
38回目	特殊鍼法 耳鍼、刺絡、顔面鍼ができる。		

準備学習
時間外学習

- ・各自での刺鍼動作の練習
- ・経絡、経穴の予習や復習
- ・授業開始前の身だしなみの確認

評価方法	・平常点(10%) ・期末試験(90%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	平常点には出席、持ち物、身だしなみ、受講態度等が含まれる。
------	-------------------------	--	-------------------------------

受講生へのメッセージ

慣れない指の動きから始まりますが、練習をすれば必ず上達します。練習を怠らないでください。
 はりきゅう実技は一週間の始まりで行います。自己の体調管理、身だしなみや忘れ物がないかを配ってください。

【使用教科書・教材・参考書】

ずっと使える！鍼灸臨床BOOK(滋慶出版)、
 新版 臨床経穴概論 第2版(医歯薬出版株式会社)
 はりきゅう理論(医道の日本社)
 配布プリント等

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	きゅう実技 I (Moxibustion Practical Skills I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	池田 晋太郎
学科	鍼灸科	授業 形態	実技	総時間	90	開講区分	前期
コース	I 部			(単位)	3	曜日・時限	月曜日・2限

【授業の学習内容】

きゅう実技における基本的な技術を身に付ける。きゅう実技では手の使い方がとても重要となるので、そのために必要な動作を反復して行っていく。前期では人体に施術を行う前段階の正しいきゅう実技とリスク管理について学び、後期では人体へのきゅう施術および衛生概念と技術を身に付ける。

※実務経験：鍼灸教員養成課程修了

鍼灸整骨院にて鍼灸治療に従事し、また登録販売者として医薬品の提案・販売業務にも携わる。

【到達目標】

1年次におけるきゅう実技では、人体に対して正確な大きさの灸を施灸できるように以下の内容を到達目標とする。

- ① 米粒大の艾炷をひねることができる。
- ② 板上または紙上に対し、安定した艾炷をひねることができる。
- ③ きゅう施術に対する消毒・衛生操作を理解し、説明ができる。
- ④ 人体の経穴に対し、安全に施灸することができる。

授業計画・内容

1回目	実習オリエンテーション(用具の説明と準備)	16回目	ペアで施灸(上肢部)ができる
2回目	きゅうの基礎知識が理解できる	17回目	ペアで施灸(下肢部)ができる
3回目	艾のひねり方と紡錘形の作ることができる	18回目	ペアで施灸(腹部)ができる
4回目	艾炷(米粒大)の作ることができる	19回目	ペアで施灸(背腰部)ができる
5回目	艾炷(米粒大)の着床と点火することができる	20回目	試験前復習
6回目	板上にて連続施灸ができる	21回目	試験
7回目	紙上にて連続施灸ができる	22回目	試験
8回目	施灸ディスカッションと艾炷の精度が理解できる	23回目	復習
9回目	八分灸の作り方と操作方法が理解できる		
10回目	板上にて連続施灸(八分灸)ができる		
11回目	きゅう施術における衛生概念が理解できる		
12回目	きゅう施術における有害事象と対処法が理解できる		
13回目	自身への八分灸①(解溪穴)ができる		
14回目	自身への八分灸②(三陰交穴)ができる		
15回目	ペアでの施灸における術者の動線の確認が理解できる		

準備学習
時間外学習

きゅう実技の技術向上のためには、授業時間だけでなく、自主練習が必要となる。積極的に自主練習に努める。

評価方法

1. 定期試験(0%)
2. 小テスト(%)
3. レポート(%)
4. 課題成果(%)
5. 実地試験(%)

評価方法はGPA制度となります
100~90点 S
89~80点 A
79~70点 B
69~60点 C
59点以下 F不合格

平常点(20%) 期末試験(80%)

受講生への
メッセージ

初めは慣れない手の使い方、指の動かし方に戸惑うことも多いかと思いますが、毎日練習することで自然と技術は身についていきます。逆に自主練習を怠ると周りとの差は開いていきます。1年次の実技は基礎の中でも非常に大事な部分になるので、授業を休まないように体調管理に気をつけて下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：新版経絡経穴概論(医歯薬出版株式会社)

配布物：プリント

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	きゅう実技 I (Moxibustion Practical Skills I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	池田 晋太郎
学科	鍼灸科	授業 形態	実技	総時間	90	開講区分	後 期
コース	I 部			(単位)	3	曜日・時限	月曜日・2限

【授業の学習内容】

きゅう実技における基本的な技術を身に付ける。きゅう実技では手の使い方がとても重要となるので、そのために必要な動作を反復して行っていく。前期では人体に施術を行う前段階の正しいきゅう実技とリスク管理について学び、後期では人体へのきゅう施術および衛生概念と技術を身に付ける。

※実務経験：鍼灸教員養成課程修了

鍼灸整骨院にて鍼灸治療に従事し、また登録販売者として医薬品の提案・販売業務にも携わる。

【到達目標】

1年次におけるきゅう実技では、人体に対して正確な大きさの灸を施灸できるように以下の内容を到達目標とする。

- ① 米粒大の艾炷をひねることができる。
- ② 板上または紙上に対し、安定した艾炷をひねることができる。
- ③ きゅう施術に対する消毒・衛生操作を理解し、説明ができる。
- ④ 人体の経穴に対し、安全に施灸することができる。

授業計画・内容

24回目	連続重ね八分灸を作ることができる	39回目	半米粒大での透熱灸を施灸することができる①
25回目	自身への連続重ね八分灸ができる	40回目	半米粒大での透熱灸を施灸することができる②
26回目	上肢の経穴に対し連続重ね八分灸ができる①	41回目	腹部または背部に隔物灸をすることができる①
27回目	上肢の経穴に対し連続重ね八分灸ができる②	42回目	腹部または背部に隔物灸をすることができる②
28回目	胸部・腹部の経穴に対し連続重ね八分灸ができる①	43回目	試験前復習
29回目	胸部・腹部の経穴に対し連続重ね八分灸ができる②	44回目	試験
30回目	項部・肩甲部の経穴に対し連続重ね八分灸ができる①	45回目	試験
31回目	項部・肩甲部の経穴に対し連続重ね八分灸ができる②	46回目	1年次のきゅう実技総復習
32回目	腰部の経穴に対し連続重ね八分灸ができる①		
33回目	腰部の経穴に対し連続重ね八分灸ができる②		
34回目	下肢の経穴に対し連続重ね八分灸ができる①		
35回目	下肢の経穴に対し連続重ね八分灸ができる②		
36回目	複数の部位に対し連続重ね八分灸が時間内にできる①		
37回目	複数の部位に対し連続重ね八分灸が時間内にできる②		
38回目	複数の部位に対し連続重ね八分灸が時間内にできる③		

準備学習
時間外学習

きゅう実技の技術向上のためには、授業時間だけでなく、自主練習が必要となる。積極的に自主練習に努める。

評価方法

1. 定期試験(0%)
2. 小テスト(%)
3. レポート(%)
4. 課題成果(%)
5. 実地試験(%)

評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F不合格

平常点(20%) 期末試験(80%)

受講生への
メッセージ

初めは慣れない手の使い方、指の動かし方に戸惑うことも多いかと思いますが、毎日練習することで自然と技術は身についていきます。逆に自主練習を怠ると周りとの差は開いていきます。1年次の実技は基礎の中でも非常に大事な部分になるので、授業を休まないように体調管理に気をつけて下さい。

【使用教科書・教材・参考書】

教科書：新版経絡経穴概論(医歯薬出版株式会社)

配布物：プリント

名古屋医健スポーツ専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	総合医学特論 I (Holistic Medical Theory I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中里 亮太・遠藤 久子
学科	鍼灸科	授業 形態	講義実習	総時間	15	開講区分	通 年
コース	I 部			(単位)	1	曜日・時限	5月、6月、8月、11月、2月

【授業の学習内容】

研究発表の種類と方法を学び、実際に研究発表を行う。
 模擬店を出店し、企画・運営・コミュニケーションの方法を学習する。
 スポーツを通じて、チームワークや運動が体に与える変化について学習する。
 実力試験として各期末に実力試験を行い学習の定着度を確認する。

【到達目標】

医療人として必要なコミュニケーション力を養い、患者や多職種の専門家と信頼関係を築くことができる。将来のはり師・きゅう師の将来像を構築し必要な技術・知識を研鑽していく意識を持つことができる。

授業計画・内容

1回目	全日本鍼灸学会学術大会に参加し、発表を聴講して研究発表の仕方、自身の研究テーマの方向性を定めることができる。		
2回目	全日本鍼灸学会学術大会に参加し、発表を聴講して研究発表の仕方、自身の研究テーマの方向性を定めることができる。		
3回目	模擬店を出店し、企画・運営を円滑に行うことができる。		
4回目	模擬店を出店し、企画・運営を円滑に行うことができる。		
5回目	交流会に参加し将来目指す分野について理解を深める。		
6回目	学術大会に参加し、他職種の行う発表を聴講して他の職種業務について理解できる。		
7回目	スポーツ大会を通してコミュニケーション力を高めることができる。		
8回目	学内研究発表会(we are IKEN!)にて発表を聴講して、職業理解を深めることができる。		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
準備学習 時間外学習	自らテーマを決め、研究発表をするために必要なステップ(情報収集、実験、文献検索、まとめ、資料作成)を行う必要がある。		
評価方法	1. 定期試験(0%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	出席率(80%)、学習態度、提出物(20%)
受講生への メッセージ	この科目は、医療人として必要なコミュニケーション力や自身の将来像を構築する科目になります。様々な事項に興味を持ち積極的に取り組んでください。		

【使用教科書・教材・参考書】

適宜、必要と思われるもの。